

学生実習用 医療安全研修

当院のリスクマネジメント



2025年度
医療の質・安全管理部

山口大学医学部附属病院の理念

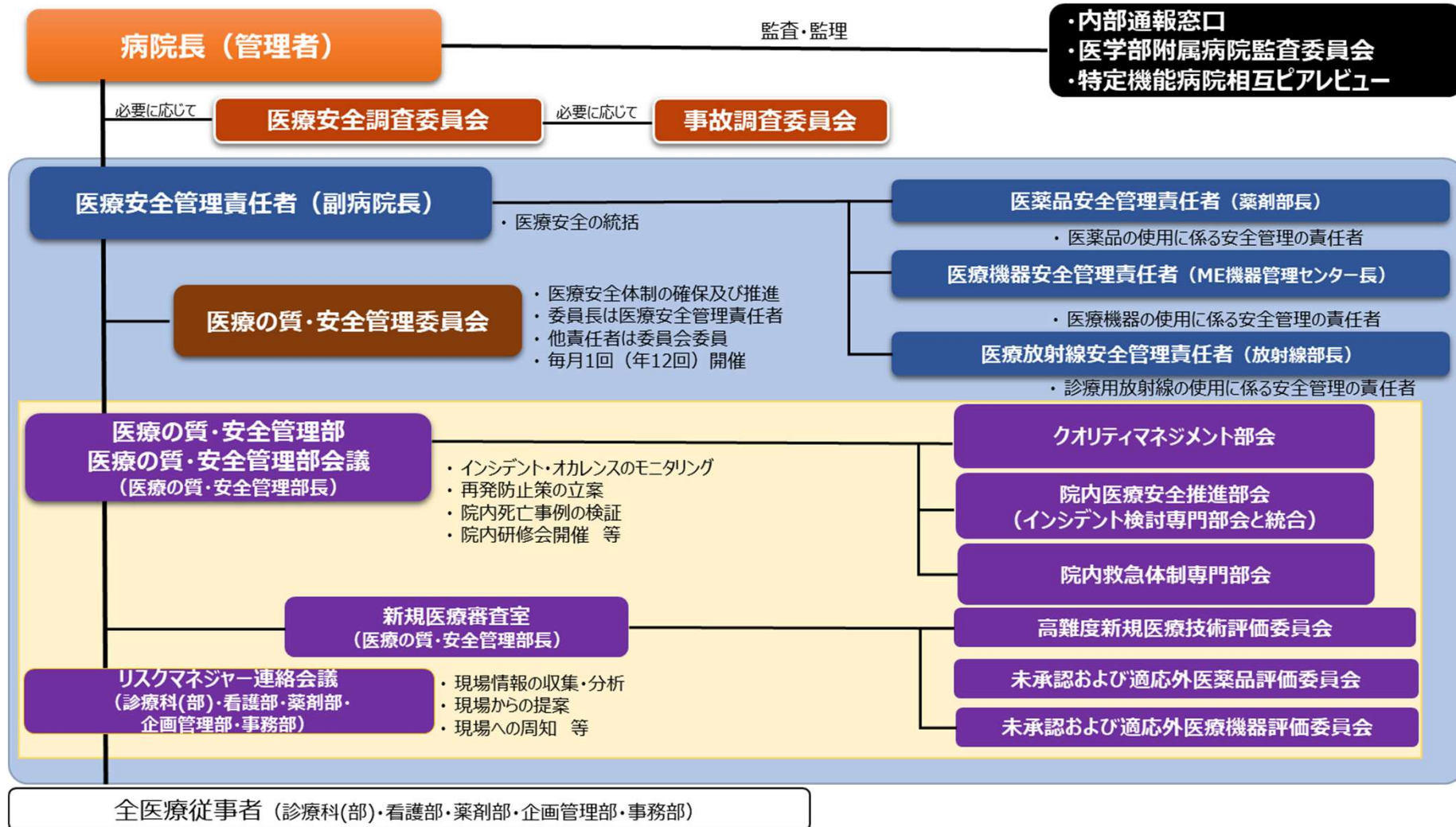
理念：一人ひとりの健康と安心の探求と実践

1. 患者さんに寄り添い**安全で良質な医療**を提供する
2. 個性や価値観を尊重し、安心して能力を発揮できる職場環境を創る
3. 持続可能な地域医療の実現に貢献する
4. 豊かな人間性を持ち、多様な場で活躍できる医療人を育成する
5. 世界に誇れる先端医療を探求しつづける



1. 当院の医療安全体制について

医療安全管理体制図



医療の質・安全管理部員

・ 医師 G R M	(部長 専従)	1 名	・ 医師	(兼任)	5 名
・ 医師 G R M	(専任)	2 名	・ 薬剤師	(兼任)	1 名
・ 薬剤師 G R M	(専従)	1 名	・ 医療情報部長	(兼任)	1 名
・ 看護師 G R M	(専従)	2 名	・ 副看護部長	(兼任)	1 名
・ 事務	(医療安全係・兼任)	3 名	・ 看護師長	(兼任)	3 名
			・ 放射線技師	(兼任)	1 名
			・ 臨床検査技師	(兼任)	1 名
			・ 臨床工学技士	(兼任)	1 名

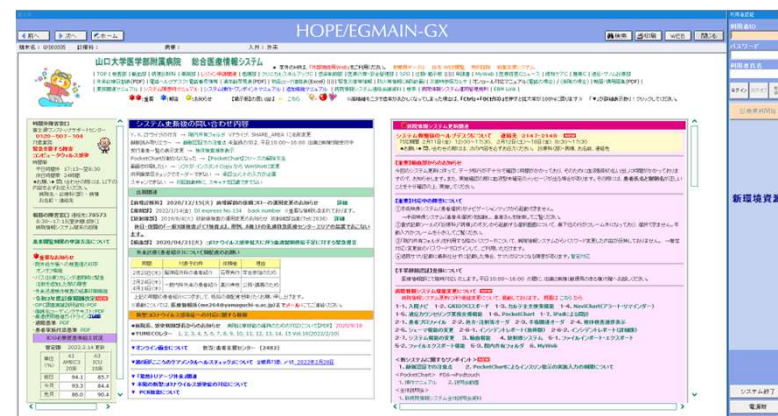
医療安全は「医療の質の保証」であり、
「医療の質の管理」である

医療に係る安全管理のための指針

医療の質・安全管理部マニュアル

- リスクマネジメントマニュアル
- 静脈注射の実施に関する基準 など

医療の質・安全管理部の ホームページに掲載



職員ハンドブック

医療安全編

- リスクマネジメントマニュアルの中から、
緊急時に役に立つことを抜粋して掲載



職員は、ポケットに
携帯するように
しています。

「医療の質・安全管理部のホームページ」はここから

HOPE/MAIN-GX

端末名: GYDD0305 診療科: 病棟: 入外: 外来

検索 印刷 WEB 閉じる

山口大学医学部附属病院 総合医療情報システム

★ 学外のHPIは、「外部接続用Webページ」から入力してください。

TOP | 検査部 | 輸血部 | 病理診断科 | 薬剤部 | レジ申請関連 | 看護部 | クリニカルスキルアップ | 感染制御部 | 医療の質・安全管理部 | PD | 広報・掲示板 | 申請書 | MyWeb | 医療経営ニュース | 緩和ケアC | 腫瘍C | 遺伝・ゲノム診療部 | 外来診療日割表(PDF) | 電話ヘルプデスク: 電話番号簿等 | 満年齢早見表(PDF) | 物品コード価格表(Excel) | 郵便物計画 | 災害時参照カルテ | オンコール対応マニュアル(電話の場合) / (未院の場合) | 略語・慣用語集(PDF) | 業務関連マニュアル | システム障害時マニュアル | システム操作・ワンポイントマニュアル | 追加機能マニュアル | 病院情報システム連絡会議資料 | 検査 | 病院情報システム運用規則 | EBM Link |

※重要 ※報告 ※お知らせ 【掲示板】の思い出は はこちら ※高機能モニタで倍率がおかしくなった場合は、「Ctrl+F0(ゼロ)」を押すと拡大率が100%に戻ります ※ 「▼」が詳細表示あり！クリックしてください。

時間外障害窓口
富士通ワンストップサポートセンター
0120-507-104
対象業務
緊急を要する障害
コンピュータウイルス感染
時間外
平日時間外 17:15~翌8:30
休日時間外 24時間
◆お問い合わせの際は、以下の
内容をお伝えください。
病院名・診療科(部)・病棟
お名前・連絡先

機器の障害窓口 連絡先: 78573
8:30~17:15(昼休時は除く)
病院情報システム端末の故障

患者閲覧制限の申請方法について

★重要なお知らせ
・院外処方箋への検査値の印字
オンオフ機能
・バス(診療)カレンダ適用時に緊急
注射を追加した際の障害
・外来迅速検査検査の結果印刷機能
・令和2年度診療報酬改定
DPC調査実施説明資料: PDF
・偽病名コーディングテキスト: PDF
・最速使用推進ガイドライン: PDF
・退院基準 PDF
・患者家族付添基準 PDF
ICU必要度基準超え状況
暫定版 2022.2.14 更新
単位 (%)
A1 AMEC3 A3 ICU 16床
前日 94.1 85.7
今月 93.3 84.4
先月 86.0 90.4

システム更新後の問い合わせ内容

Y, X, Zドライブの行方 → 院内共有フォルダ Vドライブ, SHARE_AREA に名称変更
静脈読み取りエラー → 静脈認証での注意点 未登録の方は、平日 10:00~16:00 旧第2病棟5階受付中
受付患者一覧の表示変更 → 後援検査進捗表示
PocketChartが動かなくなった → 【PocketChart】フリーズの解除方法
画面を印刷したい → ソフトが インスタント Copy から WinShotに変更
併用薬禁忌チェックでオーダーできない → 承認コメントの入力が必要
スキャンできない → 初回起動時に、スキャナを確認してください

広報関連

【病理診断科】 2020/12/15(火) 病理解剖の依頼フローの運用変更のお知らせ 詳細
【薬剤部】 2022/1/14(金) DI express No.134 back number ※重要な情報も含まれております。
【放射線部】 2019/6/4(火) 放射線検査の運用変更のお知らせ 放射線部当直(Tel: 2636) 詳細
休日・夜間の「一般X線検査」「CT検査」は、原則、A棟1Fの先進救急医療センターエリアの装置でお願い
します。

【輸血部】 2020/04/21(火) コロナウイルス感染拡大に伴う血液製剤供給不足に対する緊急宣言

外来診療(患者紹介)について御配慮のお願い

期間	対象予約科	依頼者	理由
2月25日(木)	脳神経外科の患者紹介	石原秀行	学会参加のため
2月24日(木)	一般内科外来の患者紹介	黒川典枝	公費、講義のため
4月14日(木)			

上記の期間の患者紹介につきまして、格段の御配慮をお願い申し上げます。
※掲載については、医療情報係(me264@yamaguchi-u.ac.jp)までメールにてご連絡ください。

新型コロナウイルス感染症への対応に関する情報

◆病院長、感染制御部長からのお知らせ 病院診療機能の維持のための対応について【PDF】 2020/9/18
◆YUMECOLター 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15 Vol.16(2022/2/10)

オンライン面会について 担当: 患者支援センター (2482)

第6回「こころのケアメンタルヘルスチェック」について 全職員対象、〆切_2022年2月28日

「発熱トリアージ外来」関連
▼ 本院の新型コロナウイルス感染症の対応について
▼ PCR検査について

利用者認証

利用者ID

パスワード

利用者氏名

ログイン ログオフ 業務選択

診療業務開始

新環境資源

システム終了

電源断

20220214-09

特定機能病院とは

- 高度の医療の提供を実施する能力等を備えた病院
- 一般の病院などから紹介された高度先端医療行為を必要とする患者に対応する病院
- 厚生労働大臣より88病院が承認を得ている

(2025年4月1日現在)



当院は山口県唯一の
特定機能病院です

特定機能病院の要件の概要

- ① 医師・薬剤師及び看護師の医療安全管理部門への専従
- ② 内部通報窓口の設置
- ③ インフォームドコンセントの適切な実施確認、責任者の配置
- ④ 診療録の記載内容の確認、責任者の配置
- ⑤ 職員研修の必須項目の追加、学習効果の測定
- ⑥ 医薬品情報の整理、周知、確認、適応外・禁忌等の処方の確認
- ⑦ 院内死亡全事例の把握、確認
- ⑧ 高難度新規医療技術の実施に係る部門の設置
- ⑨ 新規未承認医薬品の実施に係る部門の設置
- ⑩ 外部監査委員会の設置
- ⑪ 医療安全に資する診療内容のモニタリング

上記項目が2016年10月から順次必須化されてきた

医療法施行規則による規定

- ①医療に係る安全管理のための指針の整備
- ②医療に係る安全管理のための委員会の開催
- ③医療に係る安全管理のための職員研修の実施
- ④医療機関内における事故報告等の体制整備
- ⑤専任の医療安全管理者及び専任の院内感染対策者の配置
- ⑥医療に係る安全管理を行う部門の設置
- ⑦患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保
- ⑧医療事故報告制度について

* ①～④は、有床診療所及び全ての病院に対して義務化が求められている事項

* ⑤～⑦は、特定機能病院に対して義務化が求められている事項

医療事故調査制度（医療法第6条の10）

病院、診療所又は助産所（以下この章において「病院等」という。）の**管理者**は、**医療事故**が発生した場合には、厚生労働省令で定めるところにより、遅滞なく、当該医療事故の日時、場所及び状況その他厚生労働省令で定める事項を第6条の15第1項の**医療事故調査・支援センターに報告しなければならない。**

ここでいう医療事故とは？

当該病院等に勤務する医療従事者が提供した**医療に起因し、又は起因すると疑われる死亡又は死産**であって、当該**管理者が当該死亡又は死産を予期しなかったもの**として厚生労働省令で定めるものをいう。



「医療事故調査制度」をご存じですか。



ご家族。大切な方のためにぜひ知っておいてください。

医療が提供されている中で「予期せぬ死亡」が発生した時、原因を究明するために調査を行い、再発防止につなげ、安全な医療を目指します。

相談専用ダイヤル 03-3434-1110

日本医療安全調査機構 (医療事故調査・支援センター)

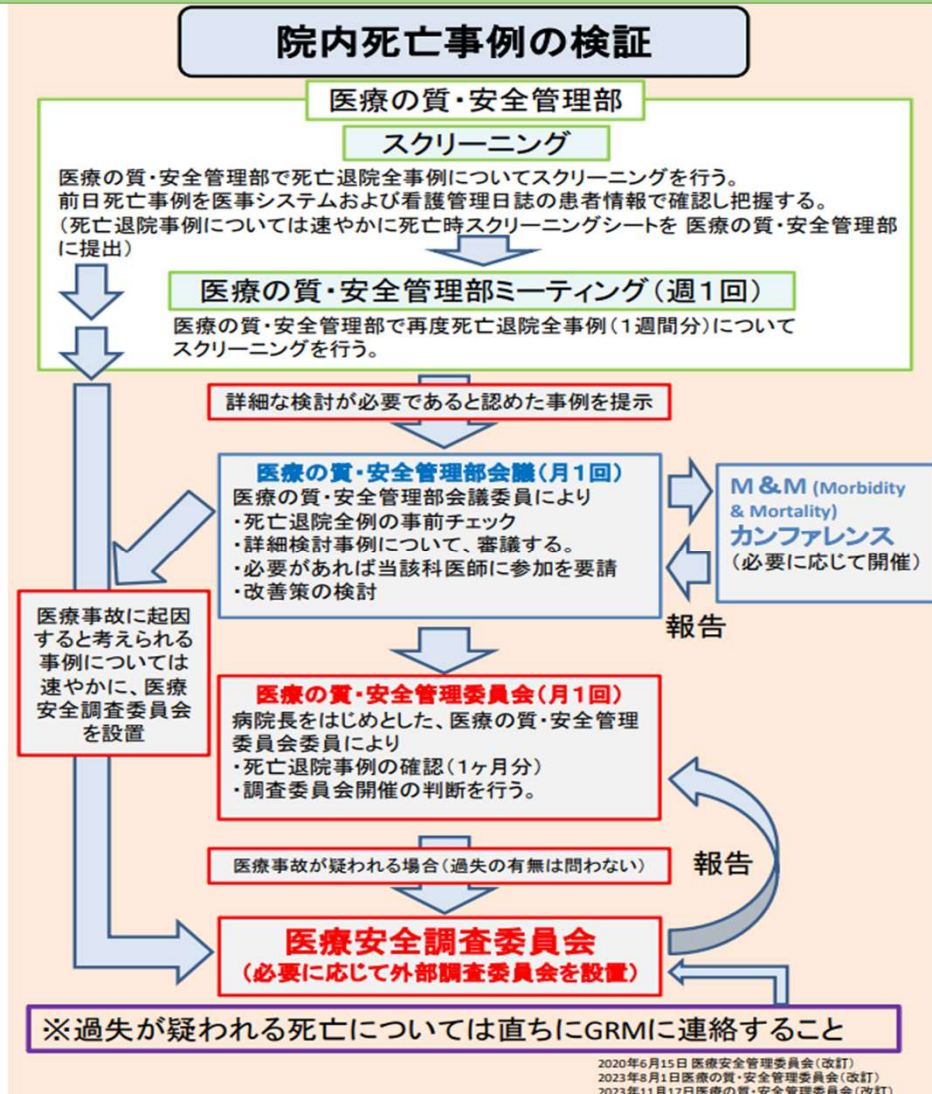
院内死亡事例報告制度

平成27年8月1日より、本院で開始
院内死亡全事例の把握、確認のため

死亡退院事例については、速やかに
所定の「死亡時スクリーニングシート」
を記入のうえ、医療の質・安全管理部に
提出する

医療の質・安全管理部でスクリーニング

医療に起因すると考えられる事例について
調査・検討し「医療事故」と判断された
事例を届け出る



医療安全管理に関する内部通報窓口

医療安全管理に関する内部通報窓口について

国立大学法人山口大学では、医療法施行規則に基づき、下記のとおり山口大学医学部附属病院の医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための通報窓口を設置しています。

通報を行うことができる者

通報を行うことができる者は、本学の職員（派遣契約その他契約に基づき本学の業務に従事する者を含む。）としておりますが、職員以外の者からの通報についても対応いたします。

通報者の保護

通報者は通報をしたことを理由として、解雇その他の不利益な取扱いを受けることはありません。

なお、通報者が虚偽の通報や、他人を誹謗中傷する通報その他不正を目的とする通報を行った場合には、就業規則によって処分されることがあります。

通報の方法

通報内容を下記の通報シートに記載し、電話、電子メール、ファクシミリ、書面又は面会のいずれかの方法により通報して下さい。なお、匿名での通報も受け付けますが、調査結果等の通知ができない、又は事実関係の調査ができない可能性があります。

医療安全管理に関する内部通報窓口

山口大学総務企画部総務課

住 所	〒753-8511 山口市吉田1677番地1
電 話	083-933-5005
FAX	083-933-5013
E-mail	tsuhou@yamaguchi-u.ac.jp (@は半角に置き換えてください。)

通報シート ([word](#) / [PDF](#) )



内部通報窓口

学内規程等

- ・山口大学医学部附属病院内部通報窓口規則 ([PDF](#) )

http://www.yamaguchi-u.ac.jp/info/_5584.html

2. インシデント報告について

インシデントレポートの目的

目的：収集した情報を分析し、医療事故防止の改善策を検討・実施するために活用する

● 当事者の個人的責任を追及するものではない

- * インシデントに関する情報は、個人情報が多く、正当な理由無く第三者に漏らしてはならない。情報は適切な管理を行うこと。
- * インシデントレポートは非開示

インシデントレポートで報告すべき範囲（１）

① インシデント

（国立大学医療安全管理協議会ガイドラインより）

1. 患者に傷害が発生した事態
（ただし、右欄に掲げる事項を除く）
 2. 患者に傷害が発生する可能性があった事態
 3. 患者や家族からの苦情
（医療行為に関わるもの）
 4. コードブルーした事例
- * 上記 1、2 に含まれるもの
- ・ 医療用具（医療材料や医療機器）の不具合
 - ・ 転倒、転落
 - ・ 自殺、自殺企図
 - ・ 無断離院
 - ・ 予期しない合併症
 - ・ 発見、対処（処置）の遅れ
 - ・ 患者の自己管理薬の服薬ミス
 - ・ 患者の針刺し
- など

対 象 外

1. 院内感染
2. 食中毒
3. 職員の針刺し
4. 暴行傷害（事件）
窃盗盗難（事件）
5. 患者や家族からの苦情
（医療行為に関わらないもの）

インシデントレポートで報告すべき範囲（2）

②オカレンス

●手術に関する項目（全14項目あり）

- ☐ 予期せぬ術中術後48時間以内の死亡
- ☐ 同一入院中、あるいは退院後7日以内に施行した予定外の再手術
- ☐ 手術時間の延長（予定時間の2倍もしくは2時間以上の超過）

他11項目あり

●中心静脈カテーテル等挿入に関する項目

- ☐ 気胸・血胸の発生
- ☐ 動脈誤穿刺
- ☐ 空気塞栓
- ☐ カテーテル挿入位置の異常

●侵襲的検査・処置に関する項目

- ☐ 前処置が不十分（例：欠食が守れなかった等）
- ☐ 処置を必要とした出血
- ☐ 予定外の臓器損傷や血管穿孔
- ☐ 血栓塞栓症
- ☐ 神経障害
- ☐ 処置後に予定外に手術や入院が必要となった場合
- ☐ 鎮静トラブル（過鎮静により覚醒まで時間を要した場合、呼吸障害を来した場合など）

③合併症（オカレンス項目以外の合併症）

インシデント発生時の対応

- 実習指導者や担当教員に報告を行う。

実習指導者や担当教員が近くにいないとも報告を後回しにせず、
まずは近くの管理者や職員に報告する

そしてまず、患者へ必要な対応を行うことが最優先！

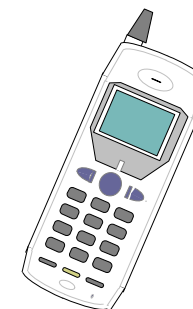
- 重大事態発生時（患者への影響レベルが高い事例の場合）は、
直ちに医療の質・安全管理部へ報告する

- インシデント発生時は原則として24時間以内にインシデント
レポートを入力する（院内のルール）

休日・夜間を問わず、速やかに報告すべき範囲

過失の可能性がある死亡は、
休日・夜間を問わず速やかに電話での報告をする

平日・日中：医 師 G R M①	7 7 5 3 6
医 師 G R M②	7 7 5 3 7
看護師 G R M①	7 7 1 0 4
看護師 G R M②	7 7 1 0 6
薬剤師 G R M	7 7 1 0 5



夜間・休日：医師 G R M

0 9 0 - 8 9 9 8 - 7 7 9 5

看護師 G R M

0 9 0 - 8 9 9 9 - 4 4 5 1

3. 患者誤認防止

患者誤認防止



The infographic features a woman thinking, a laptop, a document, and a smartphone with a doctor's icon. It includes text about preparing hand information before medical procedures and a goal for the Heisei 7 fiscal year.

手元情報

いま

照合確認しましたか？

医療行為の前に
手元情報を準備！
例えば、
電子カルテ/検査依頼票/
食札/注射ラベル/配薬ケース
+
患者さんにフルネームを
名乗ってもらおう！

患者誤認を撲滅しよう

令和7年度 医療安全推進のための目標



Q : 「いま」っていつですか？

A : 「実施直前」です



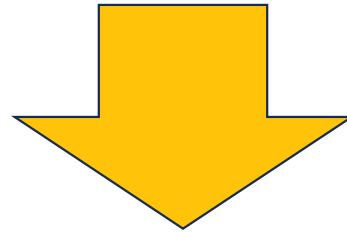
Q : 「手元情報」とは何ですか？

A : 「患者が名乗ったられた氏名や
生年月日を
確認するために使用する情報の
こと」です

患者誤認防止

患者さんを正しく識別すること

不確かな情報・思い込み（間違い）を
はっきりさせる（確かめる）には？



1. 患者さんに名乗ってもらい
2. 確実な情報（手元情報）と
照合確認しましょう！



患者誤認防止

リストバンドとポケットチャート使用による患者認証

- 点滴・注射（オーダリングのもの）
- 輸血製剤
- 採血（血液型採血・血液交差試験採血など）

機械で確認しその後更に
患者さんに名乗ってもらい
手元情報との照合確認も行う



手元情報



実施日：2023/11/20 発行日時：2023/11/20 14:44
P. 1/1
総合外来 ID:0008101207 (1/1)
山田 太郎 様 63歳02ヶ月男
1 クラフオラン 1g 1 V
生理食塩水 TN 100ml 1 V
1日4回 末梢点滴側管1
時間当たり 100ml/h
所要時間 1時間
A=1.2
指示枠4番目 (18:00~19:00)
----- 以下余白 -----

4. 院内急救体制

院内救急体制

院内急変対応：コードブルー

平日 8:30～17:15

全館放送

17:15～8:30と休日

I C U 医師につながる



*** 777**

院内救急体制

急変前徴候を察知し対応：Rapid Response System

RRS・起動基準

以下のような新たな変化が見られたら

呼吸回数□ **8回/分以下**または**28回/分以上**

SpO₂□□□□ **90%未満**

呼吸困難・努力様呼吸・不規則な呼吸

挿管チューブ・気管切開チューブの問題

収縮期血圧□ **90 mm Hg 未満**または**200 mm Hg 以上**

心拍数 **40回/分以下**または**130回/分以上**

尿・量□□□□ **50ml/4Hr**

急性の明らかな出血など

意識レベルの低下

担当医
ICU医師
PHS-77777

片麻痺・言語障害

脳卒中疑いは直ぐに

①脳外科 Call! □

PHS-74345

②担当診療科医師



77777

ICU医師につながる

救急カート・A E Dの場所を知っておきましょう！ 実習場所・院内

- **A棟・B棟の各病棟**にはフロア毎に救急カート・A E Dが配置されている。
- **外来棟**には、各診療科すべてに救急カート・A E Dが配置されていない。

※特に改修中の部署は、実習場所の救急カート・A E Dの配置場所を確認しておきましょう。



医療事故を防ぐために

● インシデントが起こりやすいときを知る

・ 初めて

・ 変化

・ 久しぶり

● マニュアル、手順を知って遵守する

● わからないことは聞く

● 確認する方法や技を身につける

・ 復唱

・ 指さし呼称

・ ダブルチェック

・ 手元情報との照合

・ 患者さんに氏名・生年月日を名乗ってもらう 等

